

台湾10
國立故宮博物院南院

台北の國立故宮博物院が台湾南部・嘉義県に2004年から総工費約400億円をかけて建設していました。中国歴代王朝の文物が中心の台北の故宮博物院に対し、南院は日本や朝鮮半島、南アジアイスラム諸国の中でも貴重な美術品が展示され「アジア芸術文化博物館」と位置づけられています。



「仏塔欄楯」

欄楯（らんじゅん）とは仏塔を囲む柵で、砂岩に仏教の守護神が彫刻されている。クシャーナ朝は中央アジアからガンジス川中流域を支配、仏教美術が発達した（クシャーナ朝・2-3世紀）



「大日如来三尊像」

中央に座った仏の両手は心の安定を表している（カンボジア王朝・12-13世紀）

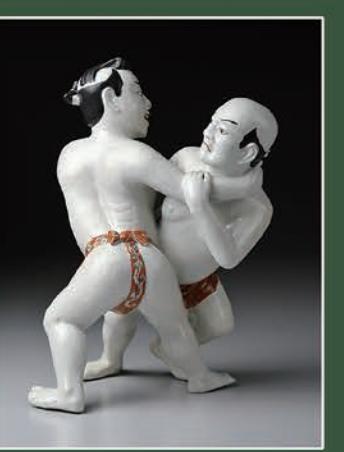


「誕生仏」

釈迦の左手は天を、右手は大地を指している。釈迦の誕生を祝う仏教行事では甘茶がかけられる（明・16世紀）



「持鉄刀黒天」
まさかりを持った大黒天（チベット・14-15世紀）



「色絵相撲人形」

相撲をする様子が生き生きと表現されている。有田焼・柿右衛門様式の磁器はオランダ東インド会社を通じてヨーロッパに数多く輸出された

（江戸時代・大阪市立東洋陶磁美術館蔵）



「是礼様式赤煉瓦茶担」
赤レンガでつくられた茶棚（清朝末期）

写真提供：台湾 国立故宮博物院
大阪市立東洋陶磁美術館

■制作協力／台北駐日經濟文化代表処／文二秋原正人

産経
子ども
ニュース
育て！
子どもたち

台湾シリーズ感想募集中

日本のお隣、台湾の情報を12回にわたり発行します。
みんなの感想を大募集！

感想を送ってくれた方には、フジテレビのグッズを全員にプレゼントします。

QRコードかホームページからアクセスしてね！
<http://www.sankeikids.com/>

台湾シリーズは下記のホームページで見られます。

台北駐日經濟文化代表処ホームページ
<http://www.roc-taiwan.org.jp>

産経子どもニュース「育て！子どもたち」
<http://www.sankeikids.com>

東京ドーム約15個分の敷地には池や庭園が配置され、「アジアの仏教藝術」「アジアの織物」「アジアの茶文化」などの常設展のほか、特別展では大阪市立東洋陶磁美術館所蔵の有田焼「色絵相撲人形」なども展示されています。子どもたちが映像や音声を通じてアジアの文化を学習できる「児童クリエイティブセンター」も設けられました。